

## 会 議 録 (概要)

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 会議の名称                         | 平成 28 年度 第 2 回 佐渡市地域公共交通活性化協議会  |
| 開催日時                          | 平成 29 年 3 月 16 日 (木)<br>13 時 30 分開会 15 時閉会  |
| 場所                            | 佐渡市役所 3 階 大会議室  |
| 議題                            | (1) 報告<br>①平成 28 年度 事業中間報告について<br>②佐渡市の公共交通の現状と課題について<br>(2) 協議<br>①平成 29 年度 事業計画 (案) 及び予算 (案) について |
| 会議の公開・非公開<br>(非公開とした場合は、その理由) | 公開  |
| 出席者                           | 別紙 委員名簿のとおり   |
| 会議資料                          | 別紙のとおり  |
| 傍聴人の数                         | 0 人   |
| 備考                            |   |

| 会議の概要 (発言の要旨) |   |
|---------------|---|
| 発言者           | 議題・発言・結果等   |
| 会長            | <p>《開会》</p> <p>あいさつ</p>   |
| 運輸局<br>交通政策部長 | <p>あいさつ</p>   |
| 事務局長          | <p>新委員紹介</p>  |
| 事務局           | <p>《報告》</p> <p>①平成 28 年度 事業中間報告について</p> <p style="padding-left: 2em;">○資料に基づき説明</p> <p>・・・質疑なし・・・</p> |

|          |  |
|----------|--|
| 事務局      | <p>②佐渡市の公共交通の現状と課題について</p> <p>○資料に基づき説明</p> <p>・・・質疑なし・・・</p> <p>《協議》</p>  |
| 事務局      | <p>①平成 29 年度 事業計画（案）及び予算（案）について</p> <p>○資料に基づき説明</p>   |
| 運輸局 清水部長 | <p>調査事業の関係ですが、「作業部会を担当者レベルで開催」と説明いただきましたが、運輸局はどの段階から入るのか？</p> <p>伺っている限りだと道路運送法の関係だと聞こえたのですが、我々は「公共交通をどうすべきか」ということも担当していますから、できれば早い段階から関与させていただいて、知見といった部分でもご協力させていただきたいと思います。</p> <p>観光二次交通事業で「自転車ラックバス」とありますが、自転車をバスに乗せるというのは良いアイデアだと思います。</p> <p>自転車競技が盛んなので「スポーツ・ツー・リズムの観点」からなっていますが、別にスポーツに限る必要はないと思います。</p> <p>例えば、お年寄りの方が生活で利用している自転車を乗せるのを排除するのか。それとも乗せることで生活交通としても利用できるというのもアイデアなのかなと思います。</p> <p>そこはどのようにお考えでしょうか？</p> |
| 事務局      | <p>調査事業ですが、事務局としても運輸局様に早い段階からご参加いただくのは非常にありがたいことだと考えています。具体的なことにつきましては、ご担当の方と調整させていただきたいと思います。</p> <p>自転車ラックバスですが、導入の目的を「スポーツ・ツー・リズムの観点」としましたが、ラックの設置箇所等を考慮し、お年寄りの方が自転車で出掛けられた際に使えるような形も検討させていただきたいと思います。</p>  |
| 委員       | <p>自転車ラックバスの件ですが、佐渡島内の道路事情から鑑みますと「外付け」というのは右折・左折の際に危険性が高いところがございます。「車内設置」については問題ないと思います。</p>   |

|    |  |
|----|--|
| 委員 | <p>その辺りも検討課題に入れてもらいたいと思います。</p> <p>自転車ラックバスについては、「車内設置」のほうが安全だと思います。</p> <p>「スポーツ・ツーリズムの観点」もあるのですが、交通空白域との連動のほうが毎日の話ですので、こちらを重視したほうが良いのかなと思います。</p> <p>駐輪場から路線バスへと「パーク・アンド・ライド」的な考え方もあると思います。</p> <p>安全面についても県警さん等と、慎重に協議していきたいと思います。</p> <p>調査事業について、過去にデマンド等色々やって利用が少なかったということですが、お年寄りが使いにくかったという面もあったかと思います。新潟県内でも三条市などでもやっていますので、原因を調査の際に重視してもらいたいと思います。</p>   |
| 委員 | <p>公安委員会の立場でお話させていただきます。</p> <p>自転車ラックバスの件ですが、道路交通法や新潟県の施行細則には特段の規制はございませんので、設置にあたっては公安委員会としては問題ありません。車検上の問題だけだと思います。</p> <p>ただ運送車両法の中で、「ナンバー等を隠さない」となっていますので自転車を乗せる際に隠れないようにしてほしい。実際の運用上、運転手が自転車を乗せるときにナンバーを隠した場合は、その是正のためバスを止めなければならない。そうすると運転手の負担が非常に大きい。そう考えると車内に乗せたほうが安全だと思います。</p> <p>運転免許証返納支援事業ですが、佐渡市から実施していただいて感謝を申し上げます。資料を見てもらうと分かりますが概ね3倍ほど自主返納件数が伸びています。</p> <p>3月12日から改正道路交通法がはじまり、75歳以上の方が一定の交通違反をした場合、強制的に免許を取り上げられるという法律が施行されました。そうなる前に返そうという方もいると思いますので、新年度につきましても返納者が増えるのではないかと思います。</p> |
| 会長 | <p>観光二次交通の関係では私も興味深いのですが、観光協会が実施している「エコだっチャリ」ですが、電動ですから坂道でもスイスイ行けるのですが、行動範囲は割りと近距離で使われていると思</p>  |

|     |  |
|-----|--|
| 委員  | <p>ます。自転車ラックバスを実施することで、具体的には「相川⇄尖閣湾」まで8キロほどありますが、自転車で往復は厳しいが片道バスで行けば帰りは自転車での利用が想定できますが、いかがでしょうか？</p> <p>利用価値があると思います。観光客からも好評があると思います。</p>                 |
| 委員  | <p>赤泊港の事業で、島内全域からタクシー運賃の一部補助とありますが、この事業の詳細が決まっているようでしたら教えてください。</p>  |
| 事務局 | <p>実施期間は「寺泊－赤泊航路」が運航開始される日から終了する日までの間で考えています。一部補助については今年度同様の「2,000円」を上限で考えています。島内全域「2,000円」で統一したいと考えています。</p>  |
| 委員  | <p>昨年の事業は船に接続する時間にあわせたものでした。朝と夕方の2便。今度はそれを除外すると考えてよいのでしょうか？</p> <p>例えば相川で宿泊して赤泊港発の夕方の船で帰る場合、赤泊港までの道中で観光をしたとします。そこから補助金の額を引いてお客様からいただいて良いのかということです。</p>     |
| 事務局 | <p>途中で観光を挟んでというのは制度設計上、想定していませんでしたが、検討のうえ後日返答させてもらいたいと思います。</p>  |
| 委員  | <p>バスフリー乗車券ですが、今回から「3day 3,000円」も車内で販売したいということですが、車内では高額紙幣の両替はしていません。5,000円、10,000円でのお釣りとといった場合は非常に困るので、パンフレット・チラシの中にそのことを盛り込んでいただくとありがたい。</p>             |
| 事務局 | <p>周知方法も検討しながら実施していきたいと思います。</p>   |
| 委員  | <p>民生委員活動の中でも高齢者の通院・買い物の弱者がいると感じており活動の中で課題だと認識している。</p> <p>今回、行政主導でアンケートを実施していただけたということでありありがたいと感じている。アンケートを実施するという情報を我々民生委員にも提供していただければ、活動をしていく中でその情報</p> |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>を踏まえて買い物弱者・通院弱者へお話もできると思います。</p> <p>この調査は交通弱者を中心にアンケートを行います。その方々がどう考え、どういう課題を持っているか、どういうことに困っているのかという部分を具体的に調査する内容でございますので、民生委員様からお手伝いいただけるというのは我々としても大変ありがたいと思います。社会福祉課の事務局を通じて改めてお願いしたいと思います。</p>  |
| 委員  | <p>3点ございます。</p> <p>1点目は自転車ラックバスの話です。私が島内の自転車愛好家のグループから要望を受けまして、交通政策課に聞いたら安全上の課題がありできないということでした。新潟交通佐渡(株)さんの積極的な取り組みで実験としてまずはやっていただけるということで、外から来るサイクリストからの強い要望がありますので、先ほど島内は人口減少で負のスパイラルにあるという話もありましたが、そういうものを打開する1つの取り組みになると思っています。大嶋社長からもありましたが、生活交通の面でも応用範囲が広がる可能性もある取り組みだと思っていますので、ぜひお願いしたいと思っています。</p> <p>2点目は観光二次交通の取り組みですが、フリーパスの販売枚数が右肩上がりだったのが残念ながら今年度下がっている。</p> <p>私は佐渡市が実施しているものは良い取り組みが多いと思いますがPRがうまくできていないと思っています。予算書でもチラシ・パンフレットが多く計上されていますが、今の旅行者は個人旅行が多く圧倒的にSNSで情報をとっている方が多いと思います。頭を切り替えてSNSを中心に積極的なPRをやっていただきたい。</p> <p>新潟交通佐渡さんのHPだけではなく佐渡汽船や観光協会のHPでもやり同じ情報を複数の媒体でやることで効果があると思いますので、事務局は頭を切り替えてお願いします。</p> <p>3点目が空白地の調査ですが、これは佐渡市にとって深刻な問題なのでやってもらいたいと思いますが、21年度に中々うまくいかなかったのが、恐らく行政がある程度仕組みを作ってしまったから地域に落としてしまったので、地域の方にとってはよく分からない事業に映ったのだと思います。</p> <p>こういう取り組みというのはやる気のある地域で協力も最大に得ながらやる。どこが本当に必要としていて汗を流す覚悟があるのか</p> |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>というところを調査で吸い上げてモデル的に実施することをお願いしたいと思います。</p> <p>実際の事業開始にあたりましては関係団体の皆様、運輸局の皆様とご相談したいと思います。来年度早々やらなければならない事業でありますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。</p>   |
| 委員  | <p>政策監が調査の方法について、お話をされましたが、関連をしてお願いをしたいと思います。通常の形で郵便が届いても高齢者の方は開くこともなく無回答になってしまうケースも想定されます。私どもの所は訪問介護の事業をやっていますから、高齢者の所に訪問介護員は必ず行きますので、ご本人やご家族に面接することも非常に多い機会があります。それからケアマネージャーがいますから自分が担当している世帯には月1回は訪問いたしますので、調査のやり方も含めて、どういう内容を引き出してくるのかを明確にしながら調査方法を考えていったほうがよいのかなと思っています。</p> <p>いずれにしても、やり方そのものを検討していく必要があると思います。</p> |
| 事務局 | <p>今のご意見も参考にしながら、ご相談もさせていただきたいと思っています。</p> <p>・・・ 事業計画（案）及び予算（案）について 承認 ・・・</p>   |
| 委員  | <p>《その他》</p> <p>蔦屋書店周辺（市野沢）の横断歩道について、佐和田方面から来た際に緩い坂になっていて見えにくい場合がある。夜、学生が立っていることが多いので、横断歩道を照らすような対策が取れないか。</p>  |
| 委員  | <p>横断歩道に付く注意標識については公安委員会の所管になり警察の管理になります。現在の標識の事情としまして灯火式の標識は付けない方向性です。新規のバス停については横断歩道の周辺には設置しないでくださいと一定のルールのもとにやっています。</p> <p>旧来のもので横断歩道付近にバス停が設置されているものもありますが、道路改良等の際に危険性があるものは移設する方向性になってきます。</p>  |
| 委員  | <p>バス停が先にできて、後に横断歩道設置の要望が出てきて設置し</p>  |

|        |   |
|--------|---|
|        | <p>たものですが。</p>  |
| 委員     | <p>それ自体が本末転倒になっている。今後そのような要望は受けられないことになる。</p>   |
| 委員     | <p>現状だと安全管理上問題があるということなので、今日結論を出すというのではなく、今後、道路管理者、交通管理者、佐渡市等で協議してほしい。</p>  |
| 事務局    | <p>今後協議させていただきたいと思います。</p>  |
| 委員     | <p>2点お願いがございます。</p> <p>4月1日から「南線」から「小木線」へ乗り換えて羽茂高校へ通学が可能となります。これは教育委員会のご配慮があつてのことだと思います。スクールバス等も含め限られた車両での運用になりますので、当協議会での議論があつての実現だと思いますので当協議会の成果だと思います。ただ、もう少しスピーディな対応ができなかったかと今後はその点をよろしくお願いいたします。</p> <p>先日、連合佐渡地協として三浦市長に島内の道路整備の要望をさせていただきました。県道・市道を含めて佐渡市がイニシアチブをとって草刈り・枝刈りをお願いしたい。観光の面でも景観ということ考えると何箇所か木々が生い茂っている状況ですので伐採をお願いしたい。</p> |
| オブザーバー | <p>県道・国道が多いかと思いますが、我々も予算計上をさせていただいております。県地域整備部と連携し確認を取りながら実施をしていきたいと考えています。</p>   |
| 委員     | <p>佐渡市の高齢化が進んで40%を超える状況、地域によっては60%以上の高齢化率もあると思います。1人暮らしや高齢者のみ2人暮らしの方が増えてくる。佐渡市の関係課でいろいろな施策を実施しているが成果が中々あがらない実態である。これからの実態を踏まえて対策を講じてもらいたい。</p> <p>交通対策については、幹線から入った地域への対策。利用者の密度からいくと予算的には対応できない。そういうことはこれからいよいよ進むのだと思う。この協議会だけで対応できる問題ではないと思います。単なる部会ではなく佐渡市の総合政策として今後取り</p>   |

|    |   |
|----|---|
| 会長 | <p>組んでもらいたい。</p> <p>老人クラブはこれから皆様にご迷惑をかける一方であります。どう支えていただくかお願いするばかりであります。</p> <p>高齢者の皆様に対して、どうやって生活しやすいような施策をするか。大変重要なことだと思います。</p> <p>その中で公共交通は1つの要素だと思いますが、それだけで全てが解決するわけではない。高齢福祉等市の施策でお役に立てることをしっかり考えていきたい。</p> <p>・・・ 終 了 ・・・</p> |
|----|---|